

「パーソナルトレーニング」の確立に向けて

大熊町教育委員会教育長 木村 政文

1 パーソナルトレーニングのための個別学習計画

(1) 今までの時間割は...

(各教科の標準授業時数) ÷ 35 ÷ 週当たりの時数

→ 教科書会社の単元配当計画表をもとに
年間指導計画を作成する。
そして、月(週)の時間割を作成して、
子どもたちに配付

一律・一斉による受動的な学習環境

→ 自分の学びをデザインすることはできない

標準授業時数の位置付け

標準授業時数は、学習指導要領で示している各教科等の内容を指導するのに要する時数を基礎として、学校運営の実態などの条件を考慮して国が定めたもの。

小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校の前期課程では、学校教育法施行規則において、教科等ごと、学年ごとに標準授業時数を定めている。

各学校においては、標準授業時数等を踏まえ、学校の教育課程全体のバランスを図りながら、児童生徒・学校・地域の実態等を考慮し、学習指導要領に基づいて各教科等の教育活動を適切に実施するための授業時数を具体的に定め、適切に配当する必要がある。

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～ (令和3年1月26日中央教育審議会答申) (抄)

第Ⅱ部 各論

2. 9年間を見通した新時代の義務教育の在り方について

(2) 教育課程の在り方

③カリキュラム・マネジメントの充実にに向けた取組の推進

(略)

- 標準授業時数については、学習指導要領に示す各教科等の内容の指導の質を担保するための、いわば量的な枠組みとして、教育の機会均等や水準確保に大きな役割を果たしてきた。特に資質・能力のうち、定量的に質を測定できるのは知識・技能等の一部にとどまることから、学習指導要領が求める教育の質を量的に支えるものとして標準授業時数は重要な意義を持っている。
- 一方で、標準授業時数の在り方をめぐっては、児童生徒や教師の負担について考慮すべきとの指摘や、学習状況に課題のある児童生徒も含めて指導すべき内容を一般的に教えることが可能なものとなっているのが、ICTを活用した学習指導を踏まえた柔軟な在り方について検討が必要、といった指摘がある。
(略)
- また、学習指導要領のねらいとする資質・能力の育成と、一定の総授業時数の確保による教育の機会均等の観点を踏まえ、総枠としての授業時数（学年ごとの年間の標準授業時数の総授業時数）は引き続き確保した上で、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成や探究的な学習の充実等に資するよう、カリキュラム・マネジメントに係る学校裁量の幅の拡大の一環として、教科等の特質を踏まえつつ、教科等ごとの授業時数の配分について一定の弾力化が可能となる制度を設けるべきである。その際、この制度を利用する学校は、家庭・地域に対して特別の教育課程を編成・実施していることを明確にするとともに、他の学校や地域のカリキュラム・マネジメントに関する取組の参考となるよう、教育課程を公表することとするべきである。

(参考) 学校教育法施行規則に定める標準授業時数

小学校の標準授業時数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	306	315	245	245	175	175
社会	-	-	70	90	100	105
算数	136	175	175	175	175	175
理科	-	-	90	105	105	105
生活	102	105	-	-	-	-
音楽	68	70	60	60	50	50
図画工作	68	70	60	60	50	50
家庭	-	-	-	-	60	55
体育	102	105	105	105	90	90
特別の教科 道徳	34	35	35	35	35	35
特別活動	34	35	35	35	35	35
総合的な 学習の時間	-	-	70	70	70	70
外国語活動	-	-	35	35	-	-
外国語	-	-	-	-	70	70
合計	850	910	980	1015	1015	1015

備考

- 一 この表の授業時数の一単位時間は、四十五分とする。
- 二 特別活動の授業時数は、小学校学習指導要領で定める学級活動（学校給食に係るものを除く。）に充てるものとする。
- 三 第五十条第二項の場合において、特別の教科である道徳のほか宗教を加えるときは、宗教の授業時数をもつてこの表の特別の教科である道徳の授業時数の一部に代えることができる。（別表第二から別表第二の三まで及び別表第四の場合においても同様とする。）

中学校の標準授業時数

	1年	2年	3年
国語	140	140	105
社会	105	105	140
数学	140	105	140
理科	105	140	140
音楽	45	35	35
美術	45	35	35
保健体育	105	105	105
技術・家庭	70	70	35
外国語	140	140	140
特別の教科 である道徳	35	35	35
総合的な 学習の時間	50	70	70
特別活動	35	35	35
合計	1015	1015	1015

備考

- 一 この表の授業時数の一単位時間は、五十分とする。
- 二 特別活動の授業時数は、中学校学習指導要領で定める学級活動（学校給食に係るものを除く。）に充てるものとする。

～ 教科書会社の単元配当計画表 ～

令和2年度(2020年度)用 小学校算数科用

「新しい算数」 年間指導計画作成資料 略案 【5年】

令和2年(2020年)2月14日版

※単元ごとの配当時数、指導内容などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

新しい算数 第5学年 年間指導計画案

・**黄緑**印は、発展的な学習の内容を示しています。
・「学習指導要領」欄のAは数と計算、Bは図形、Cは変化と関係、Dはデータの活用。「内取」は内容の取扱いを示しています。

上巻	単元	指導時数	ページ	指導内容	学習指導要領
1学期	★学びのとはら	1	2～7	●数学的活動を通じた算数科の学び方の確認	第4学年の内容
	1. 整数と小数	5	8～15	●十進数としての整数、小数 ●小数や整数を10倍、100倍、 $1/10$ 、 $1/100$ にしたときの数の表し方 ●十進位取り記数法と十進数の意味	A(2)
		142		● 発展 カードを用いた条件に合う数づくり、長さの小数での表現	
	2. 直方体や立方体の体積 ◆他教科との関連:英語	8	16～31	●体積の意味 ●体積の単位「立方センチメートル、立方メートル」と単位の相互関係 ●直方体、立方体の体積公式とその適用 ●複合図形の体積の求め方 ●体積の単位と既習の単位との関係	B(4)
		143		● 発展 容積の変化の仕方に着目した、最大値となる条件の考察	
	3. 比例	4	32～38	●比例の意味	C(1)
	☆おぼえているかな?	—	39	●既習内容の理解の確認	—
	4. 小数のかけ算	9	40～51	●小数をかけることの意味 ●小数の乗法の考え方や筆算形式 ●純小数をかけるときの積と被乗数の関係 ●小数の場合も分配、交換、結合法則が成り立つこと	A(3)(6)
		144		● 発展 3回乗じて10になる数についての考察	
	5. 小数のわり算	9	52～63	●小数でわることの意味 ●小数の除法の考え方や筆算形式 ●純小数でわるときの商と被除数の関係 ●小数の除法におけるあまりの位取り ●商を整数で表すときの処理の仕方	A(3)
		144		● 発展 カードを用いた条件に合う除法づくり	
	★小数の倍	5	64～69	●倍に関する基準量交換 ●小数倍を適用する計算(第一、二、三用法)と小数倍の意味 ●簡単な場合についての割合	A(3)
	★どんな計算になるのかな?	2	70	●小数の乗除についての演算決定	A(3)
	☆おぼえているかな?	—	71	●既習内容の理解の確認	—
6. 合同な図形	8	72～83	●合同の意味、合同な図形の弁別 ●合同な図形の性質 ●合同な三角形の作図と、三角形の決定条件の初歩 ●合同な平行四辺形の作図と、四角形の決定条件の初歩	B(1)	
	144		● 発展 平面図形の決定条件の初歩		
7. 図形の角	6	84～95	●三角形の内角の和は 180° であること ●多角形の内角の和の考察 ●1種類の合同な四角形だけで平面を敷き詰められること	B(1) 内取(2)	
	145		● 発展 作図を通じた長方形の性質の考察		
8. 偶数と奇数、倍数と約数	12	96～109	●偶数、奇数の意味とその類別 ●倍数、公倍数、最小公倍数の意味とその見つけ方 ※「プログラミングを体験しよう」への誘導あり ●約数、公約数、最大公約数の意味とその見つけ方	A(1) 内取(1)	
	146		● 発展 条件に合う整数を考える問題		
9. 分数と小数、整数の関係	6	110～119	●整数のわり算の商を分数で表すこと ●分数倍の意味 ●分数と小数、整数の相互関係	A(4)	
	146		● 発展 循環小数に関する考察		
★考える力をのばそう	2	120～121	●変化する2つの数量とその和や差を表すことを通じて、変化の規則性を見つける問題解決	C(1)	
★算数で読みとこう	2	122～123	●訪日外国人旅行者についてのデータから情報を読み取ったり判断したりする問題	D(1)	
☆おぼえているかな?	—	124	●既習内容の理解の確認	—	

下巻	単元	指導時数	ページ	指導内容	学習指導要領
2学期	10. 分数のたし算とひき算	11	2～18	●通分の意味とその方法 ●約分の意味とその方法 ●異分母分数の加法、減法の計算 ●分数と小数の混じった加減計算 ●時間の分数表示	A(4)(5)
		144		● 発展 条件に合う分数の加法づくり、音符の長さに関する考察	
	☆おぼえているかな?	—	19	●既習内容の理解の確認	—
	11. 平均	5	20～27	●平均の意味と求め方 ●平均から全量を求める方法	D(2)
		10	28～42	●単位量あたりの大きさの意味 ●人口密度の意味と求め方 ●速さの意味と表し方 ●速さに関する公式とその適用	C(2)
	☆おぼえているかな?	—	43	●既習内容の理解の確認	—
	13. 四角形と三角形の面積	11	44～64	●平行四辺形の面積の求め方、面積公式とその適用 ●三角形の面積の求め方、面積公式とその適用 ●台形やひし形の面積の求め方、面積公式とその適用 ●三角形の高さと面積の関係	B(3)
		145～146		● 発展 図形の面積公式に着目した図形の関係の考察、図形の性質を用いた面積の求め方	
	☆おぼえているかな?	—	65	●既習内容の理解の確認	—
	14. 割合	9	66～82	●割合の意味とその求め方 ●百分率の意味とその表し方 ●歩合の意味とその表し方 ●百分率を適用した計算方法	C(3) 内取(4)
—		83	●既習内容の理解の確認	—	
☆おぼえているかな?	—	83	●既習内容の理解の確認	—	
15. 帯グラフと円グラフ	8	84～94	●帯グラフ、円グラフの読み方、特徴、書き方 ●統計的な問題解決の方法	D(1) 内取(5)	
	◆他教科との関連:英語				
16. 変わり方調べ	1	95～99	●図、表を用いて数量の規則性を見つける問題解決	A(6)	
17. 正多角形と円周の長さ	9	100～113	●正多角形の概念、性質、かき方 ※「プログラミングを体験しよう」への誘導あり ●円周率の意味 ●円の直径の長さや円周の長さの関係	B(1) 内取(3) A(6) C(1)	
	7	114～123	●角柱、円柱の概念、特徴、性質 ●角柱、円柱の見取図、展開図 ● 発展 トイレペーパーの芯を展開した図形の考察	B(2)	
★考える力をのばそう	2	124～125	●2重の関係を図に表すことを通じて基準量を求める問題	C(3)	
★算数で読みとこう	2	126～127	●日本の国土の利用についてのデータから情報を読み取ったり判断したりする問題	D(1)	
★5年のふしゅう	5	128～132	●5学年の学習内容の総復習、働かせてきた数学的な見方・考え方の振り返り	A～D	

年間の総時数	2学期制 前期 79 + 後期 80 = 159	予備時数
標準時数 175 時間	3学期制 1学期 51 + 2学期 65 + 3学期 43 = 159	16 時間

(2) 一人一人の時間割を作成するとは...

教師も子どもたちも「最上位目標」を共有し、
一人一人が唯一無二の成長の物語を創ること



教師による**学習カウンセリング** → **時間割の作成**



「個別最適な学び」を教師がコーディネート

子どもたち一人一人の学習内容と学習計画が更新され続ける
→ **自分の学びをデザインする力の育成**

教師による学習カウンセリング

- ① 学習者が、今の自分の学びの状態を知る。
 - 今の自分は何が分かって、何ができるのか。そして、これからは、何が知りたくて、何ができるようにになりたいのか。
- ② 学習者が、学びの方法・手段を知る。
 - 学びを広げたり、学びを深めたりするのに、何をどうしたら良いのか。
 - 認知特性を活かして。
- ③ 学習者が、自らの学びの進捗をモニターする。
 - 自らの学びのリフレクション。

(3) 一人一人の評価の在り方

〔知識・技能〕

- ・ ワークシートの活用
- ・ 単元テストの活用
- ・ Qubenaの学習ログの活用

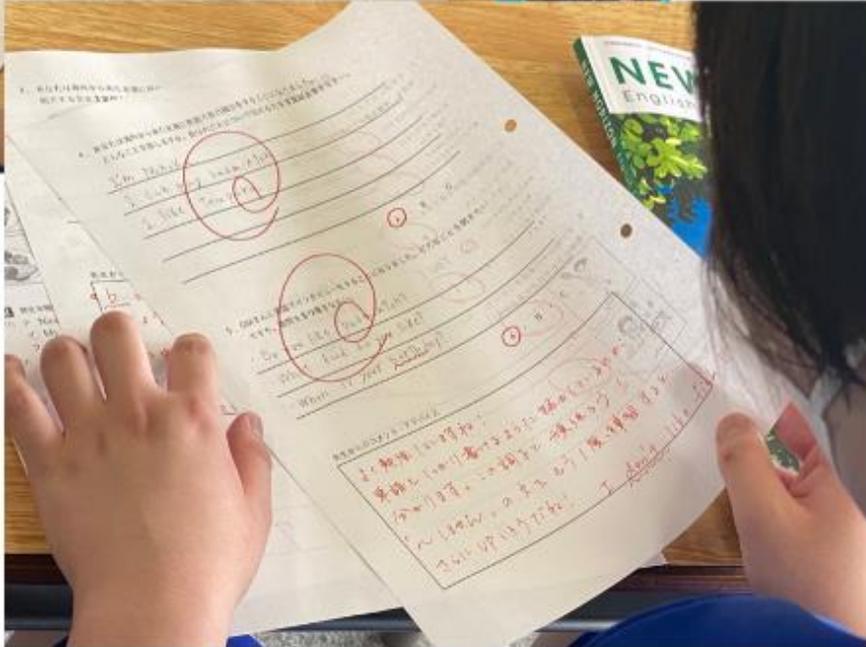
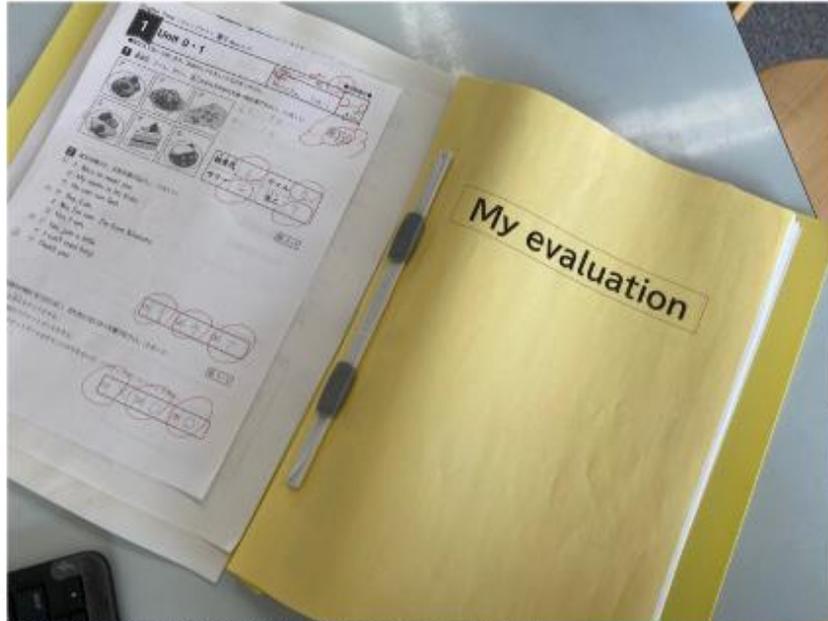
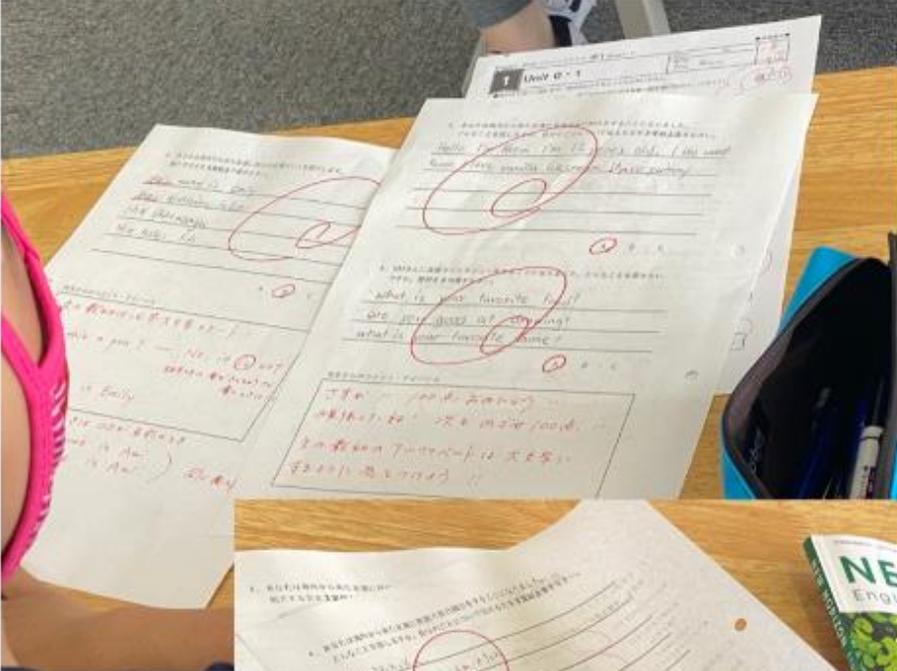
〔思考・判断・表現〕

- ・ ポートフォリオによる一人一人の
キャリアパスポートの作成
→ 評価の個別最適化
- ・ 自分の学びのリフレクション
→ 教師や保護者へのプレゼンテーション

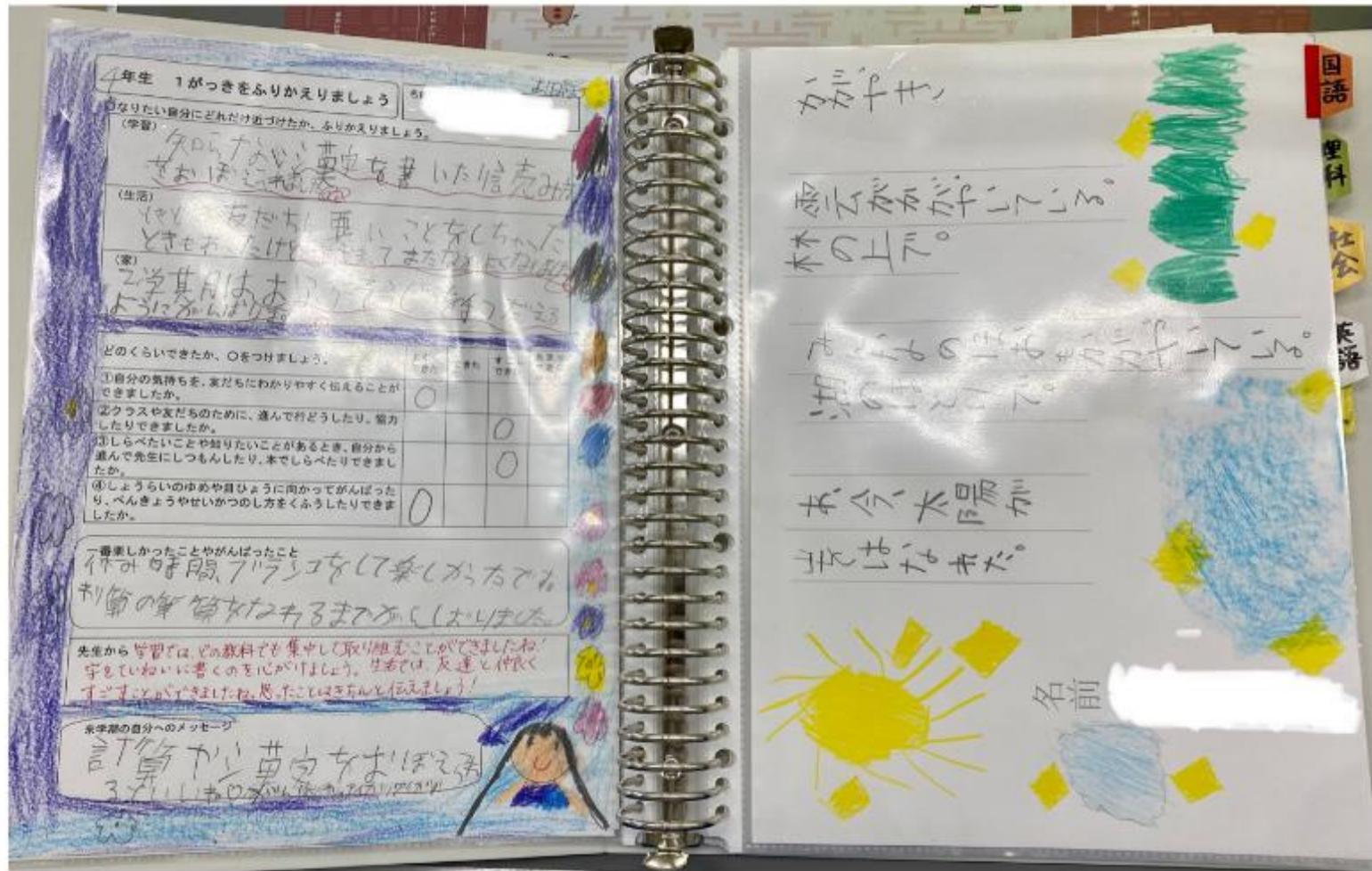
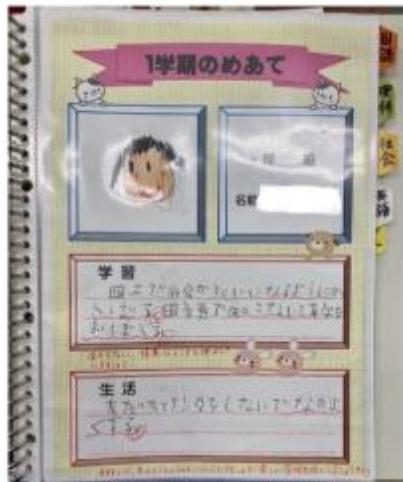
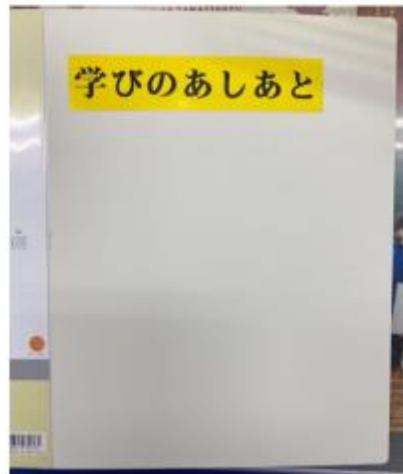
キャリアパスポートの作成・学びのリフレクション

→ **自分のキャリアをデザインする力の育成**

単元テストの活用



キャリアパスポートによる評価の個別最適化



ポートフォリオによる個別のキャリアパスポートの作成

思考・判断・表現

「何をどう学び、何が出来るようになったのか」



プレゼンテーション

- 一次プレゼン (教科担当教師)
- 二次プレゼン (管理職)
- 三次プレゼン (保護者)



評価 → **非認知能力** の評価

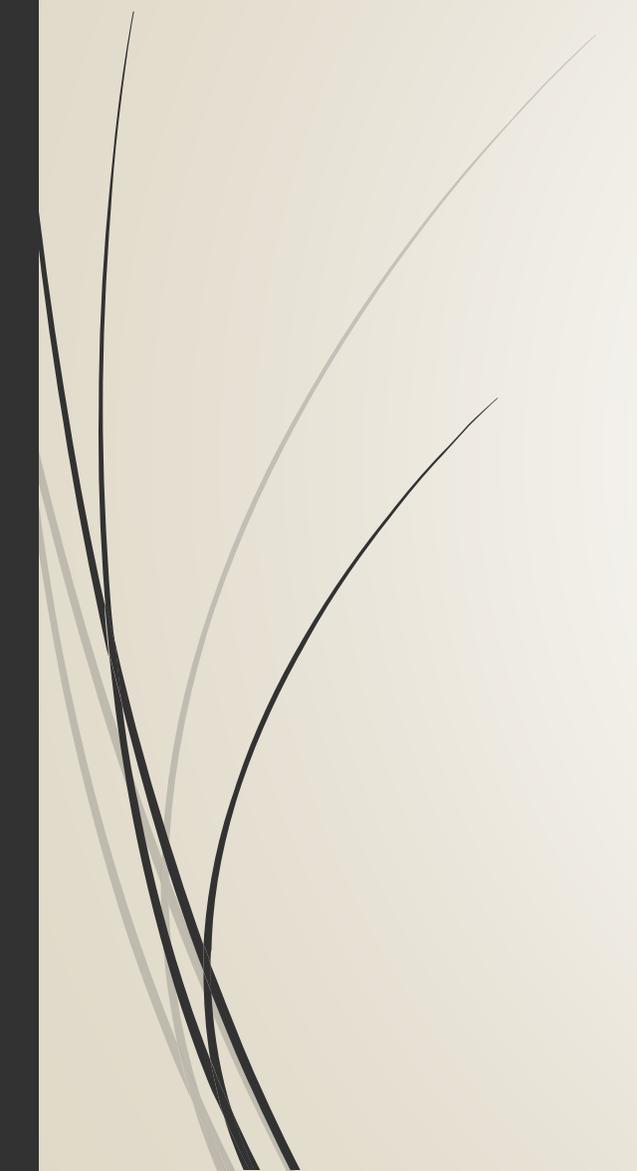


ハイブリッド型プレゼン

ICT機器の活用と技能の実演







プレゼンテーションの様子をご覧ください。

2 パーソナルトレーニングを充実させる学び舎デザイン

～【文科省】「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」中間報告(概要)より～

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方（5つの姿の方向性）

全ての子どもたちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



これからの新しい時代の学び舎として目指していく姿

「未来思考」をもった上で、「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて、**これからの新しい時代の学び舎として目指していく姿**を示す。

新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮するものとして、その中心となる「幹」に『**学び**』を据え、その学びを豊かにしていく「枝」として『**生活**』『**共創**』の空間を実現する。

また、学び舎の土台として着実に整備を推進していく「根」として『**安全**』『**環境**』の確保を実現する。

【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

学び

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、**柔軟で創造的な学習空間を実現**

⇒学習空間を、均質で画一的なものから柔軟で創造的なものに転換
(教室空間の改善・充実に関する創意工夫の例)

- ・1人1台端末環境等に対応したゆとりのある教室の整備 (イメージ①)
- ・多目的スペースの活用による多様な学習活動への柔軟な対応 (イメージ②)
- ・ロッカースペース等の配置の工夫等による教室空間の有効活用 (イメージ③)

⇒読書・学習・情報のセンターとなる学校図書館の整備 (ラーニング commons)

⇒教職員の教材製作空間 (スタジオ)、コミュニケーション・リフレッシュの場 (ラウンジ) の整備



イメージ①



イメージ②



イメージ③

生活

新しい生活様式を踏まえ、**健やかな学習・生活空間を実現**

⇒居場所となる温かみのあるリビング空間 (小教室・コーナー、室内への木材利用)
⇒空調設備の整備、トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化

共創

地域や社会と連携・協働し、**ともに創造する共創空間を実現**

⇒地域の人たちと連携・協働していく活動・交流拠点として「共創空間」を創出
⇒地域活性化等の観点から、他の公共施設等との複合化・共用化等を促進

【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

安全

子どもたちの生命を守り抜く、**安全・安心な教育環境を実現**

⇒老朽化対策等により、安全・安心な教育環境を確保
⇒避難所として自家発電・情報通信設備、バリアフリー、水害対策等の防災機能を強化

環境

脱炭素社会の実現に貢献する、**持続可能な教育環境を実現**

⇒屋根や外壁の高断熱化や高効率照明などの省エネルギー化、太陽光発電設備の導入の促進により、ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) を推進
⇒環境や地域との共生の観点から学校における木材利用 (木造化、室内利用) を推進

～【文科省】「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」中間報告(概要)より～

新しい時代の学びを実現する空間イメージ例 (未来思考の視点を含む)

Schools for the Future 「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体で学びの場として創造する子供たちにとって「明日また行きたい学校」となるために、そこに集う人々にとっても「生き生きと輝く学校」となるために



学び

単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるよう、創造的な空間に転換していく姿



学び

学校施設全体を学びの場として捉え、階段状の空間を、ステージやプロジェクタ等を備えた発表・表現の場としていく姿



学び

学校図書館とコンピュータ教室と組み合わせ読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・commons」としていく姿



学び

製作・編集のためスタジオ、情報交換や休息ができるラウンジなど、円滑に業務を行える執務空間としていく姿



生活

子供たちの居場所となる小空間・ベンチ等の配置や、木材を活用して温かみと潤いのあるリビング空間としていく姿



生活

断熱性能を高めて空調設備が設置された体育館を、大人数での多様な活動も展開できる大空間として活用していく姿



共創

地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が展開できる共創空間としていく姿



共創

他の公共施設(図書館等)との複合化・共用化を図り、多様な「知」を集積する共創空間としていく姿

個別最適な学びを実現する校舎

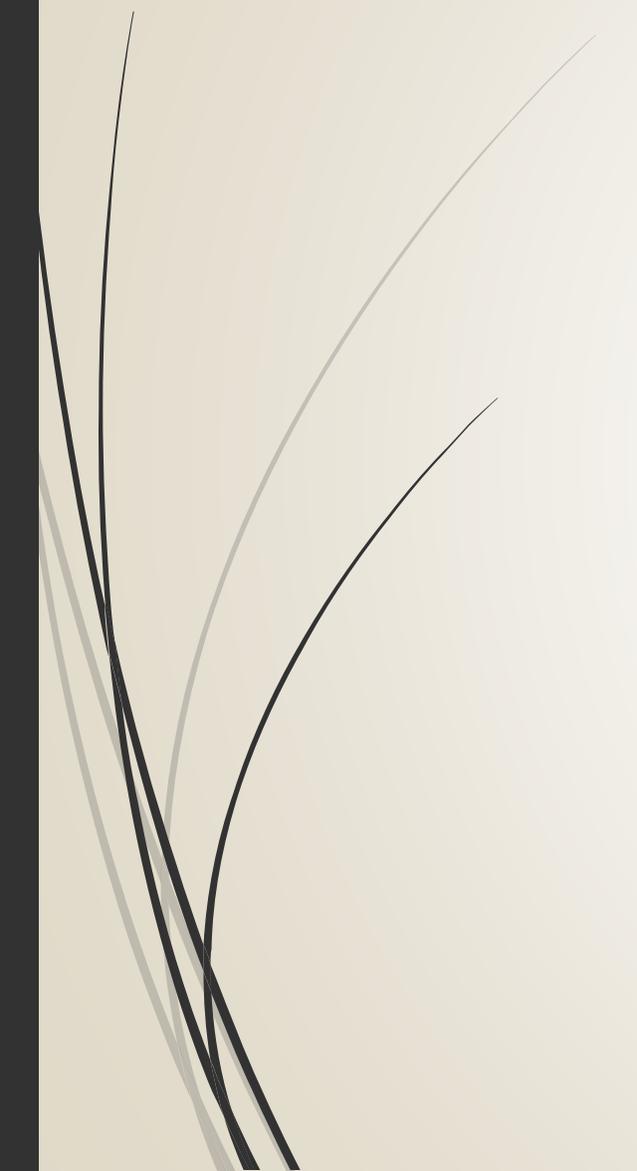
■外観パース



2023年 大熊町で学校再開

義務教育学校「大熊町立 学び舎 ゆめの森」





校舎のプロモーションビデオをご覧ください。

3 個別学習計画作成に向けた今後の課題

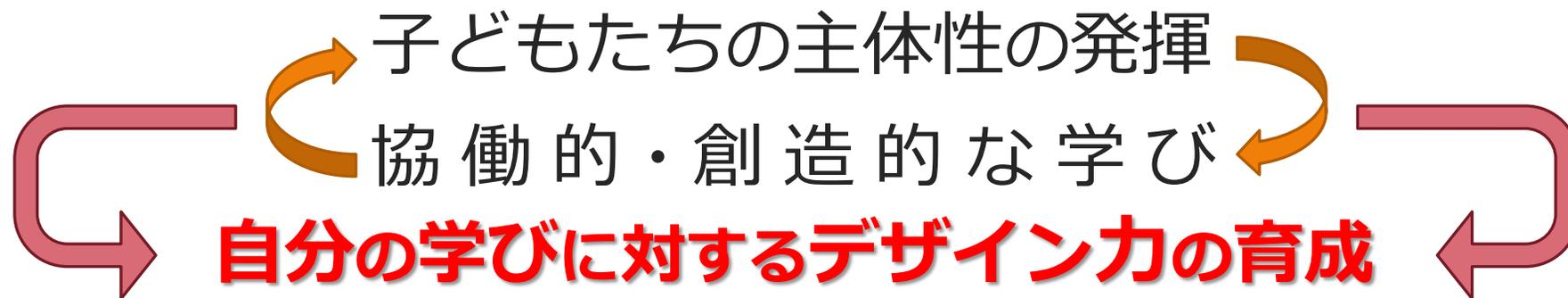
(1) 教師の意識改革

ティーチ → (答えのある学び)



伴走者
ファシリテーター
学びのデザイナー } → (答えのない学びをともに)

(2) 主体的・対話的で深い学びの充実



(3) 学力の伸びと定着

- 各種調査による実態の把握
- 学力の伸びと非認知能力の相関関係に基づいた教師による個別最適な学びのコーディネート
- 学力の伸びと定着を保護者が実感
- 個別学習計画作成に向けた保護者の理解と協力

(4) 標準授業時数

- Society5.0時代の到来（個別最適な学び・AIの活用）を見据えた幅のある（目安の）授業時数
- 履修主義から修得主義への転換

4 今後の展望

【教育のDX化】

【アアルトコンサルティング合同会社との実証事業】

- ・ 総合教育支援サイトの立ち上げ

～ **ゆめの森.com（仮称）** ～

【テクマトリックス株式会社との連携】

- ・ 学びの総合支援システム〔教育課程マネジメント、個別学習計画作成、学びの履歴（評価）、時数管理、欠席報告、保護者への連絡等〕による一元化

【アアルトコンサルティング合同会社との実証事業】

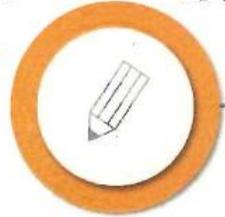
総合教育支援サイトの概要

アアルトコンサルティング
合同会社

○魅力ある教育コンテンツを広く発信・配信して、大熊町への興味を最大化する。

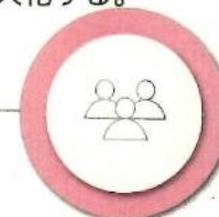
教育施策

DX 学習の進捗状況
生徒主体の情報発信



コミュニティ運営

オンライン同窓会
大熊応援団



ゆめの森 .com
(仮称)

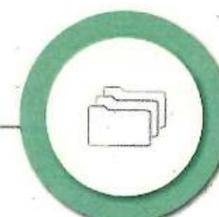
デジタル施策

オンライン放課後
VR コンテンツ



アーカイブ施策

SNS の運用とバックログの管理



○各コンテンツの取組情報を継続して発信し、大熊町の魅力訴求に繋げることとスピード感を持った情報更新を行う。

○上記情報発信やコミュニティ施策を通して、学び舎ゆめの森と同等のコンセプトを有するサイトを運営し、デジタル領域からも興味関心層を取り込む。

【総合教育支援サイト（アクティブWEBサイト）】

（仮称）Webゆめの森.com

義務教育学校「大熊町立学び舎ゆめの森」の学びのフィールドの概念を**広く**、**多様**にとらえる。

大熊町立学び舎ゆめの森

《対面でのリアルの学び》

学び舎ゆめの森に登校して、教師、友達、地域の人々、異年齢、異業種などの、多様な他者と関わり合いを持って、リアルな学びのフィールド



《WEBでのバーチャルな学び》

総合教育支援サイト「（仮称）Webゆめの森.com」で、震災により全国に離れ離れとなった大熊町の関係者、応援者、支援者、そして多様な他者と関わり合いを持つ、グローバルな学びのフィールド